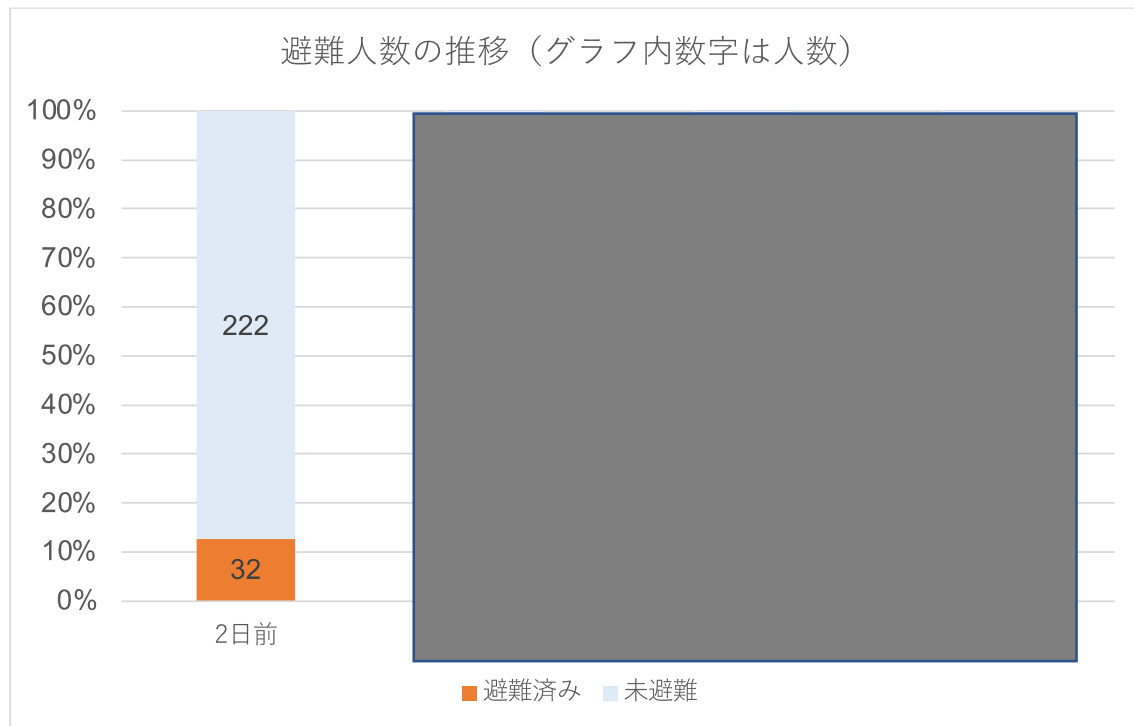


## 前回のアンケート調査の結果

- 3月11日から15日に参加者の皆さま254名に回答いただいたアンケート調査の集計結果を紹介します。
- アンケートでは、史上最大級の台風が接近している状況を想定し、台風上陸の2日前、1日前、半日前、10～12時間前、約6時間前に避難するかをお聞きしました。
- 実験の設定上、全ての回答結果をお示ししない場合がありますがご了承ください。

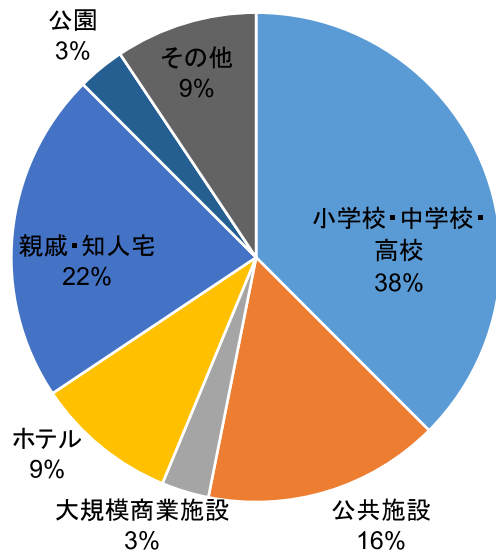
## 各時間で「避難する」と回答した人数の推移



- 1 回目のアンケート調査と比べ、「避難する」と回答した人が各時点において 20 名程度減少しました。
- 避難しない理由として 1 回目のアンケートから増加したものは、  
2 日前：「災害発生する確率が低いと考えられる」  
が多い結果になりました。

## 避難先の施設の種類

避難先の施設種別（上陸2日前）



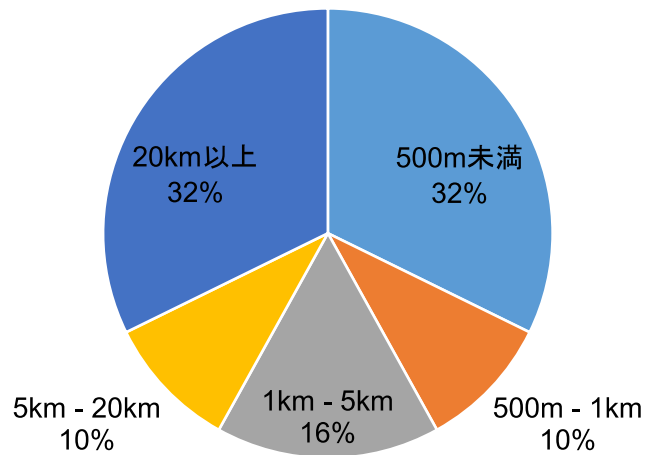
1 回目のアンケート調査から変化があった点は、

- 親戚・知人宅、ホテル、公共施設を選ぶ人の割合が増加
- 特に 2～1 日前に親戚・知人宅を選ぶ人の割合が 10%程度増加
- 上陸 2 日前に学校を選ぶ人の割合が減少

## 避難先までの距離

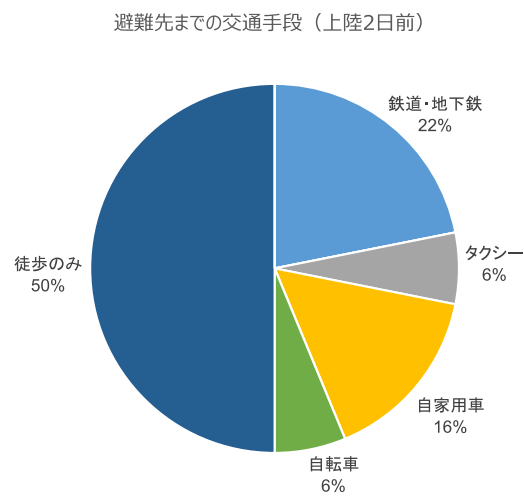
※事前に伺っていた住所とアンケート回答結果からおおよその距離を算出しました。

避難先の自宅からの距離（上陸2日前）



- 自宅から 20km 以上先の遠方を避難先を選ぶ人が増加。特に台風上陸 2 日前では 3 分の 1 を占めます。
- 自宅から 500m 未満の避難先を選ぶ人が減少。

## 避難先までの距離



- 遠方の避難先を選ぶ人が増えたため、鉄道・地下鉄と自家用車の選択が増加。
- 自家用車の選択割合が増加すると、川を渡る橋や高速道路入り口などで大渋滞が発生すると予想されます。健康な人が、水害が発生する直前に自家用車を使って避難することは、危険な行為と言えます。

今回の配信資料は以上です。

引き続き調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

なおアンケートの回答は、お住まいの市区町村における状況を想像して回答をお願いいたします。「もし江東区に住んでいたら～」と想像する必要はありません。